「伊東市人口ビジョン（案）」と「伊東市総合戦略（案）」の全体像

人口ビジョン

長期見通し（2060 年を視野）

＜本市の長期見通し＞

◎人口：2060 年に
3 万 3 千人
（社会保障人口問題研究所推計）

◆人口減少の歯止め
○合計特殊出生率
2020 年に **1.59** を達成
（達成後は維持する）
※現状 1.49

◆東京一極集中の是正
○社会増減数
（転入者数－転出者数）
毎年 150 人の転入超過
を実現
※現状 75 人の転入超過

ただし **2019 年までの 5 年間は**集中的に施策を実施することにより、**毎年 300 人の転入超過**を目指す

＜目指す姿＞

◎人口：2060 年に
4 万 2 千人
程度を確保

総合戦略（2015～2019 年度の 5 か年）

基本目標（成果指標：平成 31 年度（2019 年））	主な重要業績評価指標（KPI※1）	主な施策
①安定した雇用を創出する ◆有効求人倍率：1.00 以上を維持	**○農業の担い手の育成・確保及び交流の推進** ・新規就農者数：2 人	・付加価値の高い農産物、加工品の創出 ・農業体験等による都市住民との交流
	○地産地消の推進 ・飲食店における地魚取扱店舗数：5 店舗	・地魚の普及や販路拡大 ・情報の受発信体制の構築やイベントの実施
	○地域の商業活性化 ・伊東ブランド品目創出数：5 品目	・空き店舗を利用した実験店舗の設置 ・伊東ブランドの創出等を行う事業への支援
	○起業の促進 ・新規創業件数：6 件	・新規創業者及び商店街の空き店舗利用者向けの開業資金や家賃等の助成
②新しいひとの流れをつくる ◆社会増減数 （転入者数－転出者数）：300 人 ◆来遊客数：700 万人	**○地方移住の推進** ・移住相談件数：100 件	・移住推進組織の設置及び宿泊施設等と連携した情報発信 ・アンテナショップや国県の移住相談施設を利用した相談会の実施
	○交流人口の拡大 ・外国人観光客の宿泊数：10 万人 ・免税店登録数：20 店舗 ・伊豆半島 7 市 6 町の観光交流客数：4,100 万人	・無料公衆無線ＬＡＮの整備 ・宿泊施設、観光施設、商店等の従業員の外国語力向上 ・免税店登録の推進 ・「美しい伊豆創造センター」と連携した観光のまちづくりの推進
③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ◆合計特殊出生率：1.57 ◆待機児童数：0 人	**○安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり** ・地域ぐるみの子育て支援実施箇所数：6 か所	・伊東っ子誕生祝金の支給 ・子育て世代包括支援センターの設置
	○ひとり親家庭等の自立促進 ・ひとり親家庭等の相談件数：130 件	・母子、父子自立支援員相談支援事業 ・自立支援教育訓練、高等職業訓練促進給付事業
	○子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進 ・ファミリー・サポート・センター登録会員数：200 人	・ファミリー・サポート・センター事業 ・子育て短期入所支援事業
	○子どものふれあいの場の提供 ・児童館年間利用者数：30,000 人	・親子、親や子ども同士のふれあいの場や遊べる場の提供
	○保育の充実 ・保育所利用者満足度：80%	・休日保育、延長保育、一時預かり、病児保育の充実 ・公立保育所の施設改修　・認定こども園の整備
	○幼稚園教育の充実 ・預かり保育を実施している市立幼稚園の数：13 園	・市立幼稚園における預かり保育の実施 ・子育て相談窓口の設置
	○地区青少年健全育成活動の活発化 ・放課後子ども教室：7 教室	・地区活動の参考となる意見交換の場の提供
④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する。 ◆健康寿命（お達者度）※2 ：男性 17.28 年　女性 20.50 年	**○健康づくりの推進** ・すべての死因における対県比標準化死亡比※3：100.0 ・元気な高齢者の割合：85%	・各種健（検）診の受診しやすい環境づくり ・要精密検査者への専門職によるアプローチ ・各世代に向けた歯科衛生教育の充実
	○安全・安心なくらしを守るための取組 ・消防団員数：506 人 ・道路施設、橋りょうの長寿命化完了数：10 箇所、14 橋	・消防団員を雇用する事業所への協力要請 ・道路施設、橋りょうの長寿命化や適正な維持管理

※1 KPI ＝ 政策ごとの達成すべき成果目標　※2 お達者度 ＝ 65 歳から元気で自立して暮らせる期間　※3 対県比標準化死亡率 ＝ 地域内の年齢構成の格差を補正した上で県の死亡率を 100 とした場合の本市の死亡率